

～基本設計のワークショップが始まりました！～

約2年間の活動を通じて昨年度末にまとめた協議会基本構想を基に、基本設計の内容案について月1回のワークショップで意見交換を行なっています。計画の段階が進み住民の方々の顔つきもより真剣なものへと変わってきています。これまで土地利用、住棟配置、住戸間取りについて意見交換を行い、今後は共用部や設備などについて意見交換を行っていきます。そして平成16年3月までには、基本設計を固めていく予定です。(PPI担当:三好、柴田、川村)



トピックス

(1) 野田のまちづくりを考える会

～野田まちづくり構想を提出しました！～

平成10年からスタートした「野田のまちづくりを考える会」では、約5年間にわたる活動の成果として「野田まちづくり構想“野田まちづくりハンドブック”」をまとめ、平成15年10月20日に大阪市(福島区長)に提出しました。「野田まちづくりハンドブック」は、「野田のまちづくりを考える会」の委員の意見、活動などを中心に構成され、今後もまちづくり活動を継続できるようなシクミになっています。特に、まちづくり活動を今後も行っていくために、PPI計画・設計研究所はもとより、大阪市立大学の中村仁先生、姫路工業大学の赤澤宏樹先生にまちづくり専門家サポーターになって頂いております。現在(構想提出後)も、老朽住宅のリフォーム・耐震性能の強化などの勉強会を継続開催しております。(PPI担当:三好、近藤、川村)



(2) NPOエコデザインネットワークのコンバージョン研究会の動向

NPOエコデザインネットワーク並びにATCグリーンエコプラザ主催による「第16回エコデザインセミナー」が'03年11月28日ATCで開催され、コンバージョン研究会の座長であるPPI所長三好が「コンバージョンとエコデザイン」をテーマに講演を行いました。関連記事として読売新聞'03年11月22日号、

建設新聞・建通新聞'03年11月28日号を御参照下さい。 URL:http://www.eco-design.net/

(3) 研究発表

PPIではかねてより郊外ニュータウンの持続的発展方策の研究を進めています。日本建築学会第21回地域施設計画シンポジウム('03年7月)では、下記の3本の論文を発表しました。原本入手希望の方は御連絡下さい。

「三田市ウッディタウン等における居住者の地域活動への参加意向等の分析」

「三田市ウッディタウン等における地域施設の利用満足度と施設要求の分析」

「神戸市・山の街 住宅地・近隣センターのクリニック系生活支援センターへの転換事例」

(4) 大阪大学・神戸芸工大での講義始まる

PPI所長三好によります2大学での講義 阪大工学部環境工学科「まちづくり手法論」、神戸芸工大環境デザイン学科・設計演習 が11月から'04年1月にかけて行われます。

(5) 大阪大学工学部建築学科と阪急彩都開発株式会社とのコラボレーション

PPI所長三好によります'03年度建築工学科3年生設計演習課題('03年6月～9月)では、仮想敷地として、今PPIが精力的に取り組んでいます国際文化公園都市<彩都>の阪急用地の一角が設定されました。このことを受けて阪急彩都開発株式会社より、近未来の日本の建築・都市デザインを担う若者への激励の意味を込めて、優秀作品3作に対して、表彰状と奨学金贈られました。大学と企業の新しいタイプのコラボレーションです。



編集後記

18年ぶりの阪神セ・リーグ優勝に元気の兆しを見せた関西とは対照的な、建築業界ですが、PPIに求められる「テーマ」に対し、敏感に反応できる瞬発力がより必要になったと感じております。今号で紹介したコンバージョン(用途転換)など、新しい取り組みにも積極的に挑戦していきたいと思っております。

編集・発行

(株)PPI計画・設計研究所
〒540-0021 大阪市中央区大手通2-2-2 トンアップビル7F
TEL 06-6949-0901 FAX 06-6949-0902
E-mail: ppi-osaka@pop07.odn.ne.jp
URL: http://www.ppi-osaka.com
(ホームページ上でもP-voiceが御覧になれます)
発行責任者: 三好庸隆 編集担当者: 桑原宏明

賀

<ヴィジョン> と <ミッション>

昨年末11月29日から12月7日まで、ある海外視察ツアーのコーディネーターとして、10人位の関連分野のエグゼクティブの方々と御一緒に、南欧の諸都市を視察してきました。企画しました視察先は、スペインのビルバオ、モナコ公国、それとイタリアのミラノとブラなどの諸都市です。都市毎に視察テーマがもちろんあり、それについては改めて報告する機会をつくりたいと思いますが、ここではビルバオ(スペイン)について若干触れてみます。

ビルバオはスペインの北方、大西洋に面した都市(人口40万人)で、バスク地方の中心地(都市圏人口100万人)でもあります。歴史的には、ビルバオは良好な鉄鉱石の産地であり、ヨーロッパの産業革命を支えてきたと言われていました。ビルバオの重工業は1950年代～60年代にかけて絶頂期を迎えますが、「1970年代に入るとアジアとの競争に敗れ急激に衰退する。かつて栄えた工業のツケは、環境破壊と失業問題となって現代都市ビルバオに重くのしかかった」(『サステナブルシティ EUの地域・環境戦略』(岡部明子, 学芸出版社))ようです。



(撮影:三好庸隆)

そのビルバオは、昨今、EUの都市再生プロジェクトの優等生的都市として注目されるとともに、建築デザインの分野では、F.O.ゲーリーの、あの曲面で覆われた、度肝を抜かれるようなユニークな形態のビルバオ・グッゲンハイム美術館が出来た都市としても有名です。ビルバオの中心部にはネルビオン川が流れ、かつてはその川沿いに鉄鋼産業系の工場群が並び、煙を排出していたとの事ですが、今はその面影は全くなく、川沿いの工場が、今、着々とリバーサイドの文化ゾーンとして生まれ変わりつつあります。先のグッゲンハイム美術館もこの一角にあり、未だ日本ではあまり紹介されていませんが、その近傍に文化施設、公園などが次々と計画されています。

スペインの中でもこの20～30年間で黒煙の町ビルバオが、かくも美しい町に変身していることに驚嘆の声があるとの事です。このビルバオの変身の本質は何か。それは一時的なものか 今、スペインでは、バブル的経済状況下にあります 都市再生手法としてそこから学べるものは何か、については、とてもこの紙巾では語りつくせませんが、ひとつだけ挙げるとすると、次の事を挙げたいと思います。

我々は、メトロポリ30という、これらのプロジェクトを統括している機関のトップにヒアリングを行ったのですが、その中で氏は、都市の<ヴィジョン>(構想、シナリオ)をつくるセクターと、その内容を<ミッション>(使命、実行計画)として遂行するセクター(主として行政)とが、明確に分かれており、どうやら<ヴィジョン>を組み立てるセクターの方が都市再生をリードしている、といった内容のことを強調していました。日本では多くの場合、<ヴィジョン>と<ミッション>とが、同一組織内で、限られた人々がつくっていたり、2～3年の人事異動で<ヴィジョン>(或いは<ミッション>)セクターから<ミッション>(或いは<ヴィジョン>)セクターに回るなど、その立場と権限が曖昧、又は混在しがちで、その結果、<目標>と<手段>とがいつの間にか逆転してしまっている、といった事が少なからずあります。

もっともメトロポリ30でのヒアリング内容も、短時間であることから、現実はかなり複雑な意思決定プロセスを経るものとは思いますが、<ヴィジョン>の遂行が甘くないために<ヴィジョン>セクターと<ミッション>セクターの明確な分離が強く意図されていることは確かなようです。ビルバオの実績を目の前にして、このことは我々の都市づくりの現場における大いなる課題として受け止めたいと思います。

改めまして、今年もよろしくお願ひします。

みよし つねたか
三好庸隆
2004年 冬・春 所長

Project report 1 : アスタくにづか

～神戸・長田区再開発ビル商業棟部分

再生かけてオープン～

阪神大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区で、再開発ビルの核となる『アスタくにづか3番館』の商業棟が11月にオープン、続いて隣接する4,5番館の商業部分が12月にオープンいたしました。

PPIはこれまで約1年半余りにわたって権利者の方々と面談を行い、店づくりの相談、工事の調整を行ってきました。

震災から約8年。仮設店舗を経て、元の場所に戻って営業できる権利者の方々の笑顔が非常に印象的で、このプロジェクトに関わったメンバーにとっても大きな励みとなりました。'04年3月にはアーケードも完成し、住宅棟とあわせての街開きとなりますが、長田らしい賑わいのある人情味豊かな下町らしさが戻ってきてほしいと願っています。



プロジェクトデータ

名称：アスタくにづか

所在地：神戸市長田区

敷地面積：約 9,000 m² (日本最大規模の再開発)

延床面積：約 57,450 m²

事業主体：神戸市都市計画総局

PPI担当：三好、内田、鶴野、田中、川村

(計画・設計期間：'02年5月～'04年3月、竣工'04年3月)

Project report 2 : 阪急彩都ガーデンビレッジあさぎ

～新しい郊外住宅地の提案～

「阪急彩都ガーデンビレッジあさぎ」として第1期戸建建売分譲(17戸)が今秋行なわれ完売しました。本プロジェクトは、全体街区設計及び住宅の基本計画をPPIが担当し、阪急電鉄株式会社・阪急彩都開発株式会社により事業化がされました。“ゆっくりと21世紀をたのしむ家”として街全体は無電柱化され、クルドサクヤ官民協調の緑化といった街区自体のハード的な仕掛けの中に、オープン外構の街並みを形成しています。住宅についても外観は自然素材のもつ優しさを出来るだけ強調し機能的にも外断熱やコージェネといった環境に優しい配慮がなされています。緑地の管理・育成や「彩都スタイルクラブ」といったソフトの試みと共に第1期17戸のまとまりある住空間が彩都のイメージリーダーとしての役割を果たすことを期待しています。



(阪急彩都ガーデンビレッジの現況写真)

プロジェクトデータ

名称：阪急彩都ガーデンビレッジあさぎ

所在地：茨木市国際文化公園都市(完成時全住戸67戸)

提供：阪急彩都開発株式会社

PPI担当：三好、内仲(計画期間：'02年1月～'03年5月、竣工(第1期)'03年11月)

Project report 3 : ネットヨタ篠山

～コストパフォーマンスとシャープさを求めて～

ネットヨタ神戸株式会社の篠山地区の拠点としてショールーム及び整備工場の機能を持つ営業所をかねてより設計していましたが11月に着工しました。JR篠山口駅前の区画整理地区に来春機能的でシャープなイメージでオープン予定です。

プロジェクトデータ

名称：ネットヨタ篠山

所在地：篠山市大沢

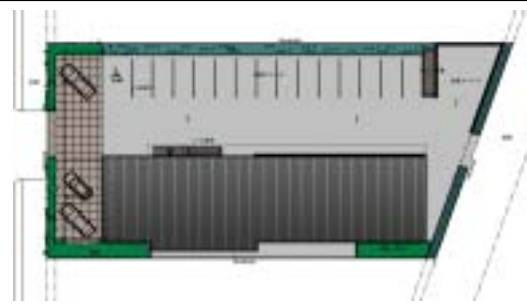
敷地面積：1,278.29 m²

延床面積：379.91 m²

事業主体：ネットヨタ神戸

株式会社

PPI担当：三好、内仲(計画・設計期間：'03年7月～10月、竣工'04年3月)



Project report 4 : アーバネックス北大路

～都市型デザイナーズ賃貸マンション着工!!～

アーバネックス北大路は、京都北山を背景に、京都のメインストリートである北大路通に面した単身者向けの都市型賃貸集合住宅です。都市部から程よい距離にありながら、京都の風物詩である送り火を楽しめる立地にあります。

住戸は、単身者向けではありますが30 m²前後のゆったりとしたプランですので、京都でお住まいをお探しの方!!アーバネックス北大路はいかがでしょうか?

プロジェクトデータ

名称：アーバネックス北大路

所在地：京都市北区

敷地面積：約 308 m²

延床面積：約 1,210 m²

構造規模：RC造、地上7階建

住戸数他：29戸+テナント

事業主体：株式会社アーバネックス

PPI担当：三好、内田、桑原、徳田

(計画・設計期間：'03年3月～9月、竣工'04年8月)



Project report 5 : 堺女子高校 - ダンス教室・音楽スタジオ

～快適 Before & After!! Conversion(用途転換)～

堺女子高校では、16年度から「自分自身を表現する能力を高め、新しい時代をクリエイトする女性を育てる」ことを目的に「アクティブアートコース」が創設されます。「アクティブアートコース」では、音楽・演技・ダンスの基礎から実践までを学ぶことができ、音楽大学等への進学が可能となります。これらを学ぶことができる空間をつくるのがPPIに求められたわけですが、新設校ではないので「ダンス教室」は「旧下足スペース」を、「音楽スタジオ(4室)」は「旧調理室」を改修することになりました。工事は実測、使用されなくなった配管等の撤去から始まりましたが、完成してみると見違える空間に Conversion されました。この教室から明日のスターが誕生するといいなと思います。



Before



After

プロジェクトデータ

名称：堺女子高アクティブアートコース改修設計

所在地：堺市浅香山町1丁2番20号

面積：約 380 m²

事業主体：学校法人 愛泉学園 堺女子高等学校

PPI担当：三好、近藤

(計画・設計期間：'03年9月～11月、竣工'03年11月)

Project report 6 : (仮称)彩都ガーデンセンター

～16年春オープンに向け、着工しました!～

P-voice5でもお伝えしましたように、彩都地区に建設される「ガーデンセンター」の設計がまとまり、平成16年春のまち開き時のオープンに向けて着工しました。本ガーデンセンターでは、花などの植物やガーデングッズの販売に加え、庭を眺めながらゆっくりとした一時(スローライフの実現?)を過ごすガーデンカフェを併設しています。また、敷地の高低差を利用し、屋内の売場と屋外の売場とを自由に行き来させることで内外が一体となった施設となっています。竣工後の報告は次号でお伝えする予定です。

プロジェクトデータ

名称：(仮称)彩都ガーデンセンター

所在地：箕面市彩都地区

敷地面積：3,053.34 m²

延床面積：約 560 m²

事業主体：株式会社 クリエイト' 阪急

PPI担当：三好、内田、近藤、目加田、徳田

(計画・設計期間：'03年4月～11月、'04年4月竣工予定)

